

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患政策研究事業）

難治性炎症性腸管障害に関する調査研究

総括／分担研究報告書（令和4年度）

非特異性多発性小腸潰瘍症の内視鏡画像解析とアトラス改訂

研究分担者 氏名 松本主之 所属先 岩手医科大学医学部内科学講座

消化器内科消化管分野

役職 教授

氏名 内田恵一 所属先 三重県立総合医療センター小児外科

役職 診療部長

研究協力者 氏名 細江直樹 所属先 慶應義塾大学医学部内視鏡センター役職 准教授

研究要旨：

厚生労働科学研究費「難治性小腸潰瘍の診断法確立と病態解明に基づいた治療法探索」班（松本班）において、2016年に非特異性多発性小腸潰瘍症画像診断アトラスを刊行した。5年以上が経過し、内容に関して変更、修正が必要である。そこで、アトラスの改訂を目的とし、プロジェクトを立ち上げた。2022年3月、アトラス改訂が終了し、本年度に公開した。

共同研究者

冬野雄太、梅野淳嗣（九州大学病態機能内科学）、江崎幹宏（佐賀大学医学部内科学講座消化器）、大宮直木（藤田医科大学先端光学診療学講座）、井上幹大（藤田医科大学小児外科）、中山佳子（信州大学医学部小児医学教室）

#### A. 研究目的

厚生労働科学研究費「難治性小腸潰瘍の診断法確立と病態解明に基づいた治療法探索」班（松本班）において、2016年に非特異性多発性小腸潰瘍症画像診断アトラスを

（<http://ibdjapan.org/pdf/doc06.pdf>）刊行した。5年以上が経過し、内容に関して変更、修正が必要である。そこで、アトラスの改訂を目的とし、プロジェクトを立ち上げた。

#### B. 研究方法

前回作成したアトラスに記載した症例の内容で変更があった部分の改訂を行う。また、研究協力者、共同研究者の施設から新たな症例画像を提出してもらい、アトラスに追加する。新診断基準（案）を記載し、解説を行う。

（倫理面への配慮）

アトラスには個人を判別できる情報を記載し

ない。

#### C. 研究結果

前回作成したアトラスに画像を提出してもらった施設に確認を行い、アトラス発刊後にSLCO2A1遺伝子バリエーションが確認できた症例についてはその旨を記載し直した。また、新たな症例画像を追加した。新診断基準（案）を記載し、解説を行った。2022年3月、アトラス改訂が終了し、本年度公開した。

#### D. 考察

臨床医に向け、新診断基準、アトラス改訂を行い、非特異性多発性小腸潰瘍症について広報活動をおこなった。

#### E. 結論

非特異性多発性小腸潰瘍症画像診断アトラス改訂を終了した。

#### F. 健康危険情報

なし。

#### G. 研究発表

1. 論文発表

A Case of Chronic Enteropathy Associated with

Solute Carrier Organic Anion Transporter  
Family, Member 2A1 (SLCO2A1) with Positive  
Immunohistochemistry for SLCO2A1 Protein.  
Ariake C, Hosoe N, Sakurai H, Tojo A, Hayashi  
Y, Ji Limpias Kamiya K, Sujino T, Takabayashi  
K, Kosaki K, Seki S, Hisamatsu T, Ogata H,  
Kanai T.  
Intern Med. 2022 Sep 1;61(17):2607-2611.

## 2. 学会発表

原因不明の消化管出血に対する小腸カプセル内  
視鏡の有用性(シンポジウム)  
東條 杏奈, 筋野 智久, 細江 直樹  
第 103 回日本消化器内視鏡学会総会  
(2022.5)

## H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む)

### 1. 特許取得

なし

### 2. 実用新案登録

なし

### 3. その他

なし

# 非特異性多発性小腸潰瘍症 画像診断アトラス

難治性疾患等克服研究事業(難治性疾患等実用化研究事業)

「難治性小腸潰瘍の診断法確立と病態解明に基づいた治療法探索」

「難治性小児消化器疾患の医療水準向上および移行期・成人期のQOL向上に関する研究」

2016年3月作成  
2022年3月改訂第2版